

2027年度 社会学部・社会学研究科  
「学部・大学院修士課程5年一貫教育プログラム」  
履修資格者選抜 実施要項

社会学部・社会学研究科「学部・大学院修士課程5年一貫教育プログラム」は、本学社会学部在籍者が、学部・大学院修士課程を最短5年間で修了し、学士号および修士号を取得することを可能にするプログラムである。プログラム履修資格者は、学部4年次在籍時に社会学研究科修士課程の授業履修・単位取得の資格が与えられ、同年度内の大学院修士課程入試（特別選抜・秋期秋一般選考・春期一般選考のいずれか）を受験し合格することで、その後1年間の修士課程在籍により修士課程を修了する資格が与えられる。

1. 選抜人数

15名程度

2. 出願資格

2017年4月以降に大学に入学し、2026年10月1日現在で一橋大学社会学部3年次に在学する者（休学中の者は除く）で、以下の要件のいずれかを満たす者。

- (1) 社会学部グローバル・リーダーズ・プログラム（GLP）履修者。
- (2) 2026年度春夏学期までのGPAが3.0以上の者。

3. 出願期間

2026年12月1日（火）～2027年1月4日（月）

※いずれの日も窓口受付時間は、9時00分～12時00分および13時00分～17時00分（ただし、土日祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く）

4. 出願書類

- (1) 志願書（所定用紙、大学院ゼミナール所属を希望する教員の署名が必要）
- (2) 研究計画書（所定用紙、日本語または英語、横書き4枚（2千～4千字）程度）  
※学部4年次・修士課程で取り組みたい研究のテーマを示したうえで、その概要と主要関連文献、2年間の研究計画をまとめること。適宜、図表を盛り込んでもよい。
- (3) 成績証明書（2026年春夏学期までのもの）：1通
- (4) 指導教員等の推薦書：1通（A4版1枚、500～800字程度、様式自由）  
※後期ゼミ（主ゼミ）の教員に作成してもらうことが望ましい。ただし、GLP担当教員・導入ゼミ担当教員・入門ゼミ担当教員など、出願者の学修能力・関心について十分に評価できる本学教員をもって代えることもできる。  
※推薦書は、推薦者から社会学研究科事務室へ直接提出するものとする。
- (5) 志願書の「特記できる資格・スコア、経験など」に記入した場合、関連する証明書等のコピー（証明書類がない場合は不要）。

## 5. 出願方法

社会学研究科事務室（法人本部棟 4 階）に、「指導教員等の推薦書」以外の出願書類を持参、郵送又は E メール（学籍メールのみ可、メールタイトルを「**5 年一貫プログラム出願書類\_学籍番号**」とすること）にて一括提出する。ただし、留学などの理由で成績証明書の取得が困難な場合は、以下の方法による提出も可能とする。

### 【成績証明書の取得が困難な場合の提出方法】

- ① CELS のダウンロードセンター>103. 各種証明書発行について（学部生用）で「**証明書発行願\_在学生用\_1.xlsx**」をダウンロード。
  - ② 証明書発行願を作成。「用途・提出先」欄には“**5 年一貫プログラム出願のため、2026 年度春夏学期までの成績証明書を社会学研究科事務室に直接提出**”と明記する。
  - ③ 学籍メールから教務課証明書担当 certificate@ad.hit-u.ac.jp（cc：社会学研究科事務室 info@soc.hit-u.ac.jp）宛に、証明書発行願を送付する。（封筒・切手は不要）
- ※この方法による場合、成績証明書は教務課から直接社会学研究科事務室へ送付されるため、出願者は成績証明書以外の出願書類を、社会学研究科事務室へ一括提出すること。

## 6. 選抜方法

出願書類および口述試験（20～30 分程度）の結果を総合して判定する。

## 7. 選抜試験（口述試験）日程

2027 年 1 月 21 日（木曜日）

※各志願者の口述試験時間等は、1 月 13 日までに研究科ウェブサイトに掲示する。

※インターネット中継によるオンライン面接を予定している。

## 8. 選抜結果発表

2027 年 1 月 26 日（火曜日）

研究科ウェブサイトにて発表する。

## 9. プログラム履修資格者の科目履修および学位取得について

別紙プログラムの概要をよく読むこと。

問い合わせ先  
社会学研究科事務室（教務担当）  
042-580-8213（内線：8214）  
info@soc.hit-u.ac.jp